

みずほCustomer Desk Report 2018/10/02 号 (As of 2018/10/01)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.86
TKY 9:00AM	113.80	1.1605	132.06	GBP/USD	1.3040
SYD-NY High	114.06	1.1629	132.46	AUD/USD	0.7223
SYD-NY Low	113.68	1.1564	131.75		0.7207
NY 5:00 PM	113.98	1.1579	131.97		0.7225
NY DOW	26,651.21	192.90	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	8,037.30	▲ 9.05	日本10年債	0.1300	1.00bp
S&P	2,924.59	10.61	米国2年債	2.8209	0.00bp
日経平均	24245.76	125.72	米国5年債	2.9640	1.02bp
TOPIX	1817.96	0.71	米国10年債	3.0846	2.06bp
シカゴ日経先物	24,455.00	270.00	独10年債	0.4725	0.25bp
ロンドンFT	7,495.67	▲ 14.53	英10年債	1.5865	1.50bp
DAX	12,339.03	92.30	豪10年債	2.6635	▲ 0.20bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	6.35	▲ 0.02%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	6.94	▲ 0.01%
NY金	1,191.70	▲ 4.50	USDJPY 6M Vol	7.40	▲ 0.05%
WTI	75.30	2.05	USDJPY 1M 25RR	-0.45	Yen Call Over
CRB指数	197.79	2.63	EURJPY 3M Vol	8.64	▲ 0.04%
ドルインデックス	95.30	0.17	EURJPY 6M Vol	9.01	▲ 0.00%

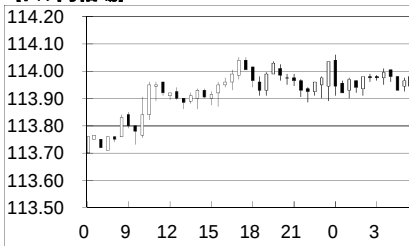
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月1日	15:00	独 小売売上高(前月比/前年比)	8月 -0.1%/1.6%	0.5%/1.6%
	16:55	独 マークイット製造業PMI・確報	9月 53.7	53.7
	18:00	欧 失業率	8月 8.1%	8.1%
	22:45	米 マークイット製造業PMI・確報	9月 55.6	55.6
	23:00	米 建設支出(前月比)	8月 0.1%	0.4%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	9月 59.8	60

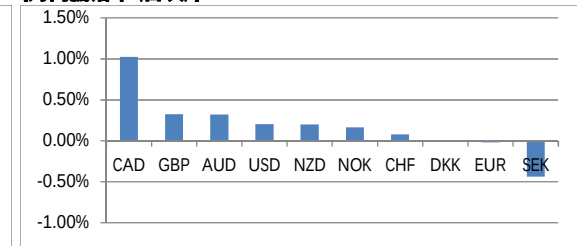
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月2日	13:30	豪 RBAキャッチメント	-	1.5%
	17:30	英 マークイット建設業PMI	9月 52.9	52.9
	17:45	英 ホールデンBOE理事 講演	-	-
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	8月 0.2%/3.8%	0.4%/4%
	23:00	米 クォールズFRB副議長 講演	-	-
10月3日	01:45	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
	03:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.60-114.40	1.1520-1.1620	131.20-132.40

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円相場は114円ちょうどをはさんで揉み合う展開。NAFTA再交渉を巡って行われていた米加通商協定の合意に至り、米加墨の三カ国で新たな貿易協定となる「USMCA」が結ばれる見通しとなった。米国による通商政策で進展が見られたことでリスクセンチメントは良化、ドル円相場は約11ヶ月ぶりの高値となる114.06まで上昇。その後発表された米9月ISM製造業景況指数が予想比下振れとなると103円台後半まで値を下げる場面が見られるも総じて104円ちょうどをはさんでも揉み合う展開となった。本日のドル円は引き続き揉み合う展開を予想する。良好な米経済動向を背景としたドル買い相場は引き続き予想される一方、日米通商協定の先行きが不透明な状況下ではドル円相場が一方的に上昇する展開は考えづらい。ドル円は引き続き方向感なく揉み合う展開が続くと予想する。

東京	朝方のドル円相場は先週金曜日の流れを引き継ぐ格好でじり高推移となり約11ヶ月ぶりの高値水準となる113.85まで上昇。9月日銀短観調査が発表されるも市場の反応は限定的となり113.80レベルで東京時間オープン。仲値にかけてドル買いが強まり113.96まで上昇。節目となる114.00を上抜けることはできなかったものの、その後は目立った新規材料のない中で113.90辺りでの底堅い推移が継続。113.95レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は113.95レベルでオープン。114.00を上抜けする局面も見られたものの、新規材料のない中で上昇に一段の拍車がかかる展開とはならず、小動きに終始。113.91-114.05円の狭いレンジ内での推移が続き、結局113.97レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1593レベルでオープン。引き続きイタリ予算案についてのコメントが各方面から伝わる中でユーロは上値重く推移。欧州株が堅調に推移したこともあり一時1.1619まで上昇する場面もあったが1.1599レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3034レベルでオープン。朝方発表の英9月製造業PMIが予想を上回りポンドは1.3060まで買われるが上値は重く昼過ぎには1.3017まで売られ1.3024レベルでNYに渡った。(ロンドン・ルブリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	米国とカナダがメキシコを含む3カ国協定を維持することで合意したことから、カナダドル円が上昇する動きにドル円は下値をサポートされ、海外市場で一時114.05まで上昇し、113.97レベルでNYオープン。朝方は米9月ISM製造業景況指数が予想を下回り、ドル円は113.89まで下落するが、その後はユーロ売りドル買いが強まったことから114.06まで上昇。午後は新規材料に欠ける中、113.90付近での推移が続き、113.98レベルでクロスした。一方、ユーロドルはイタリ7の赤字計画がユーロ圏で受け入れられないとの見方から、海外市場で一時1.1574まで下落し、1.1599レベルでNYオープン。朝方はイタリ予算案がブレグジット合意に向け、アイルランド国境問題で妥協案を計画しているとのヘッドラインが好感され、ユーロドルは1.1625まで上昇するが、イタリ7に対する懸念は強く、戻り売りに1.1564まで反落する。午後はショートカバーからやや値を戻すものの上値は重く、1.1579レベルでクロスした。(NY井上)